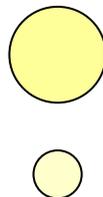


編集室より

11月末に片岡毛織が来年3月で廃業することが明らかになった。廃業の挨拶の行間に無念さを読み取ったが、まさに尾州産地の現在を象徴する出来事である。言うまでもなく片岡毛織は尾州毛織業界の創業的企業で、創業者の片岡春吉翁は先駆者である。翁の業績については周知のことだが、なぜ毛織物を手掛けたのか、これはあまり知られていない。明治29年、翁は全国機業地を回り、当時の織物産地の研究をした。その結果「京都の西陣、関東の絹織物は完成している。しからば、洋装化で需要が拡大する毛織物を興そう」との考えに至った。そして単身、東京モスリンで修行し、明治31年、故郷で毛織業を始めた。「中国（のコスト）には勝てない」、「イタリア（の感性）に追いつけない」わが国の毛織物。翁は「尾州オリジナル」を目指して功なり、名を上げた。来たるべき新年が素晴らしい年になることを祈って。1年間のご愛読ありがとうございました。（MY）



テキスタイル&ファッション

編集・発行	財団法人一宮地場産業ファッションデザインセンター
監修	愛知県産業技術研究所尾張繊維技術センター 愛知県繊維振興協会
協力	愛知県産業技術研究所三河繊維技術センター